



磯子火力発電所(神奈川県横浜市)

目次

- 01 株主の皆様へ
- 03 大間原子力発電所リポート
- 05 決算情報
- 07 コミュニケーションひろば
- 10 地域とともに

# 株主の皆様へ



代表取締役社長 北村 雅良

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第59期中間株主通信をお届けするにあたり、経営を代表してご挨拶申し上げます。

当第2四半期(累計)は水力の豊水や、昨年7月に営業運転を開始した磯子火力発電所新2号機を含む火力発電所の順調な稼働などにより、前年同期に比べ増収・増益の決算となりました。(詳細は5～6ページをご覧ください)

## 役員 (平成22年9月30日現在)

|   |  |                                      |
|---|--|--------------------------------------|
| <b>代表取締役会長</b><br>沢部 清                                      | <b>常務取締役</b><br>藤 富 正 晴<br>渡 部 肇 史                     | <b>常任監査役(常勤)</b><br>島 田 寛 治<br>藤 原 隆 |
| <b>代表取締役社長</b><br>北 村 雅 良                                   | <b>取 締 役</b><br>水 沼 正 剛<br>村 松 清 貴                     | <b>監 査 役(常 勤)</b><br>砂 道 紀 人         |
| <b>代表取締役副社長</b><br>太 田 信 一 郎<br>前 田 泰 生<br>坂 梨 義 彦<br>日 野 稔 | <b>取 締 役</b><br>竹 股 邦 治<br>田 生 宏 禎<br>永 島 順 次<br>梶 谷 剛 | <b>監 査 役</b><br>大 塚 陸 毅<br>宮 原 秀 彰   |

(注) 取締役梶谷剛は、社外取締役です。  
監査役藤原隆、大塚陸毅および宮原秀彰は、社外監査役です。

しかしながら、景気回復の足取りは不確かな状況が続いており、依然として厳しい経営環境にあります。こうした情勢のもと、J-POWERグループは、大間原子力発電所建設工事の着実な推進(詳細は3～4ページをご覧ください)をはじめとして、「2010年度J-POWERグループ経営計画」において設定いたしました重要課題、「長期的視点からの低炭素化への対応」と「設備信頼性の確保と事業運営基盤の強化」に対する取り組み

## 企業理念

わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する

- 誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする
- 環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる
- 利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う
- 自らをつねに磨き、知恵と技術のさきがけとなる
- 豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する

を国内外で進め、着実に長期的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 北村雅良

## 平成22年度 上期ハイライト

平成  
22年  
5月



### ▶ 田子倉発電所3号機の一括更新工事が竣工、運転開始

田子倉発電所は一般水力発電では国内2位\*の出力を持つ大規模水力発電所ですが、昭和34年の運転開始から約50年が経過しており、設備の信頼性維持を目的として、平成16年より主要設備の一括更新工事を行っています。すでに全4機中2機(4号機、2号機)は工事を終えており、今回3号機の工事が竣工したものです。残る1機(1号機)も平成24年に工事を終える予定で、4機合計の出力は一括更新工事前の38万kWから40万kWへと増加します。

\*国内1位は当社の奥只見発電所(出力56万kW)



7月



### ▶ タイ国での当社IPP事業に係るタイ国政府の決定について

タイ国サメッタイ地区での当社IPP事業について、タイ国政府が発電所建設予定地の変更などの指針を閣議決定しました。当社は現在、建設予定地を変更した場合の事業の実現可能性や経済性の検討を進めています。

8月



### ▶ 竹原火力発電所(広島県竹原市)新1号機(設備更新)計画の環境影響評価実施に向けた準備開始

現在、竹原火力発電所では1号機・2号機・3号機(計130万kW)が運転中ですが、高経年化への対応と地球温暖化への積極的な対応という観点から、平成32年を目標に、1号機(25万kW)及び2号機(35万kW)を新1号機(60万kW)に設備更新することを計画しています。最新設備の導入により、SOx(硫酸化合物)、NOx(窒素化合物)などの環境負荷を低減するとともに、エネルギー利用効率を向上し、低炭素化を図ります。現在、本計画の環境への影響を評価するための調査・予測・評価方法を取りまとめた環境影響評価方法書の届出(年内予定)に向けて準備を進めています。



8月



### ▶ インドネシア国におけるコンサルティング業務を受注

株式会社ニュージェックおよび当社は、インドネシア国有電力会社とジャワ～スマトラ連系送電線事業に伴うコンサルティング業務契約を調印しました。本計画は、今後の電力需要の伸びに対応するため、スマトラ島に石炭火力発電所を建設し、その電力をジャワ島ジャカルタ地域へ送電するものです。これにより、当社はインドネシアの電力安定供給・環境改善および経済インフラ発展の促進に貢献していきます。


### 鬼首地熱発電所敷地内において発生した蒸気等の噴出事故について

平成22年10月17日、当社鬼首地熱発電所(宮城県大崎市)敷地内において突然大量の泥状物を含む蒸気等が噴出し、当社社員を含む作業員4名が被災し、うち1名が死亡、1名が重傷を負う事故がありました。亡くなられた方のご冥福と、重傷を負われた方の一日も早いご回復をお祈りするとともに、地域の皆様や関係者の皆様に大変なご心配、ご迷惑をおかけしたことにしまして、深くお詫び申し上げます。当社としては、今後の安全確保に向け万全を期していく所存です。

# 大間原子力発電所レポート(第4回)

大間原子力発電所の建設工事は現在、主建屋の建築工事、機器の組立・据付工事などが順調に推移しています。

原子炉建屋の鉄骨は最上階部分まで組み上がり、地下階の壁の配筋・型枠工事も開始しています。また、原子炉建屋に据え付けた原子炉格納容器内張鋼板については、底部の鋼板部の溶接を終え、9月末に国の使用前検査を受けました。他の主建屋についても床・壁の配筋やコンクリートの打設、配管の埋設などの工事が着々と進んでおり、タービン建屋では復水器3基の本体を据え付ける工事を完了しました。



**計画の概要**

建設地点 青森県下北郡大間町

出力 138.3万kW

原子炉型式 改良型沸騰水型軽水炉 (ABWR)

燃料 濃縮ウランおよびウラン・プルトニウム混合酸化物 (MOX)

**工事進捗状況**  
(平成22年9月20日現在) 総合進捗率 **23.9%**

| 名称     | 工事内容                                  | 進捗率   |
|--------|---------------------------------------|-------|
| 土木工事   | 取・放水設備工事                              | 49.3% |
| 建築工事   | 主建屋新築工事<br>排水処理建屋新築工事<br>環境管理棟新築工事 など | 25.3% |
| 機械電気工事 | 原子炉格納容器内張鋼板地組み<br>原子炉圧力容器基礎台地組み など    | 22.4% |

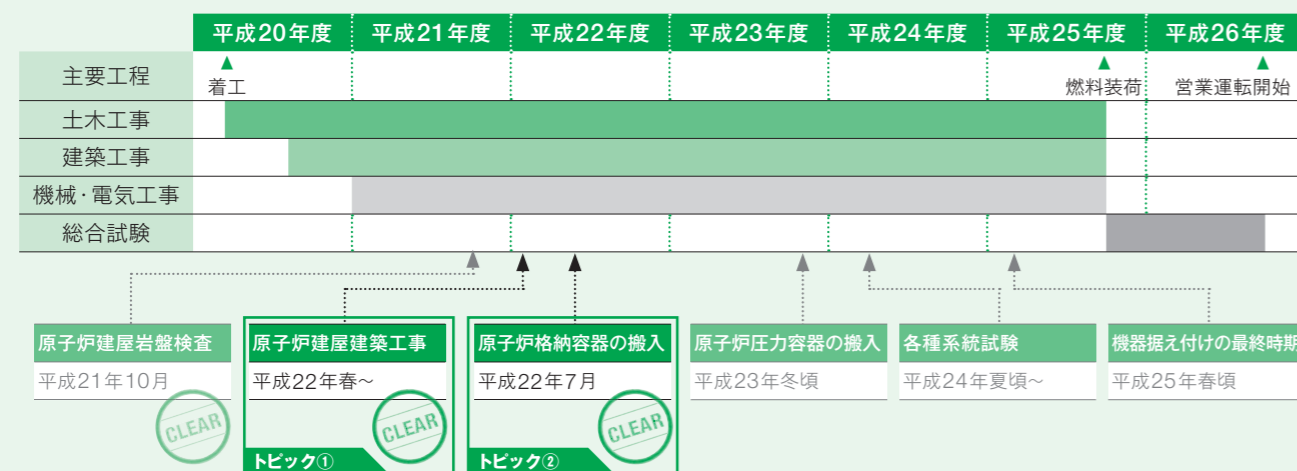


平成22年9月撮影



タービン建屋・廃棄物処理建屋

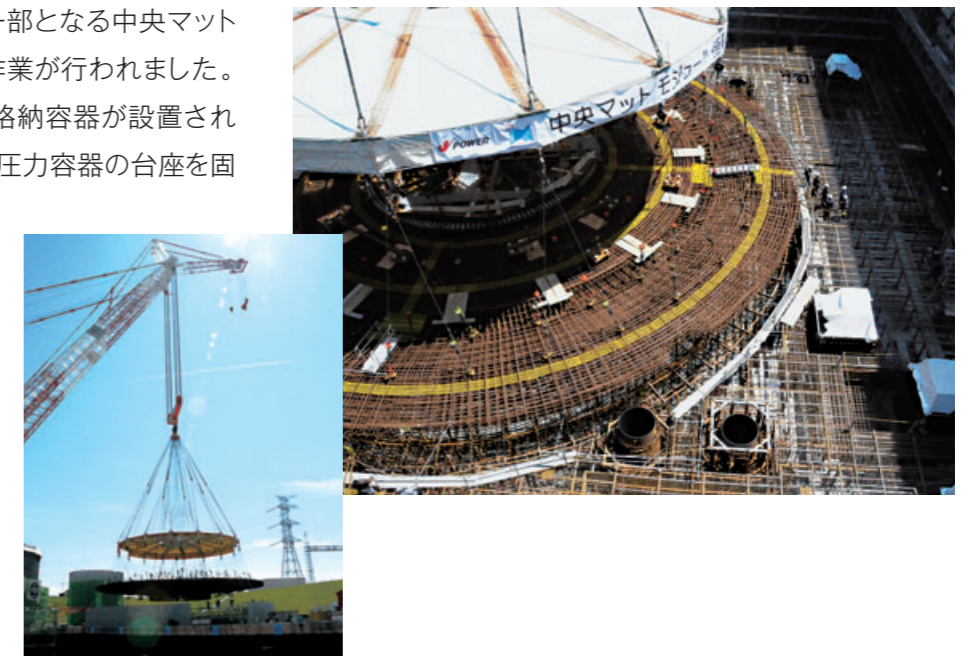
## 大間原子力発電所建設工事の流れ



### トピック① 原子炉建屋建築工事 原子炉建屋基礎が無事完成

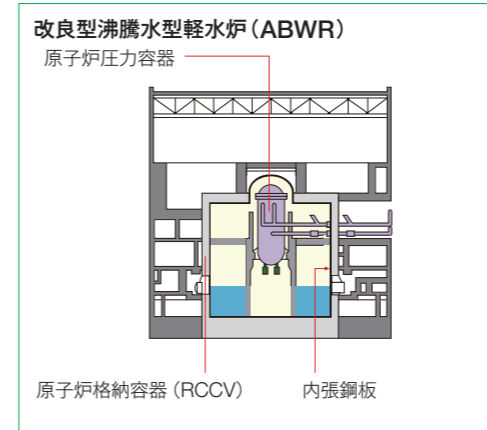
5月31日、原子炉建屋基礎の一部となる中央マットモジュールの吊り込み・据え付け作業が行われました。中央マットモジュールは、原子炉格納容器が設置される円形の基礎部分の鉄筋と原子炉圧力容器の台座を固定するための基礎ボルトなどを組み上げて一体化したもので、大きさは直径約40m、重さは約590tもあり、巨大な円盤の形状をしています。

6月中旬より基礎上部のコンクリート打設が行われ、約1ヵ月後の7月中旬には、厚さ5.5mの原子炉建屋基礎が完成しました。



### トピック② 原子炉格納容器の搬入 原子炉格納容器内張鋼板(下部)の吊り込みが完了

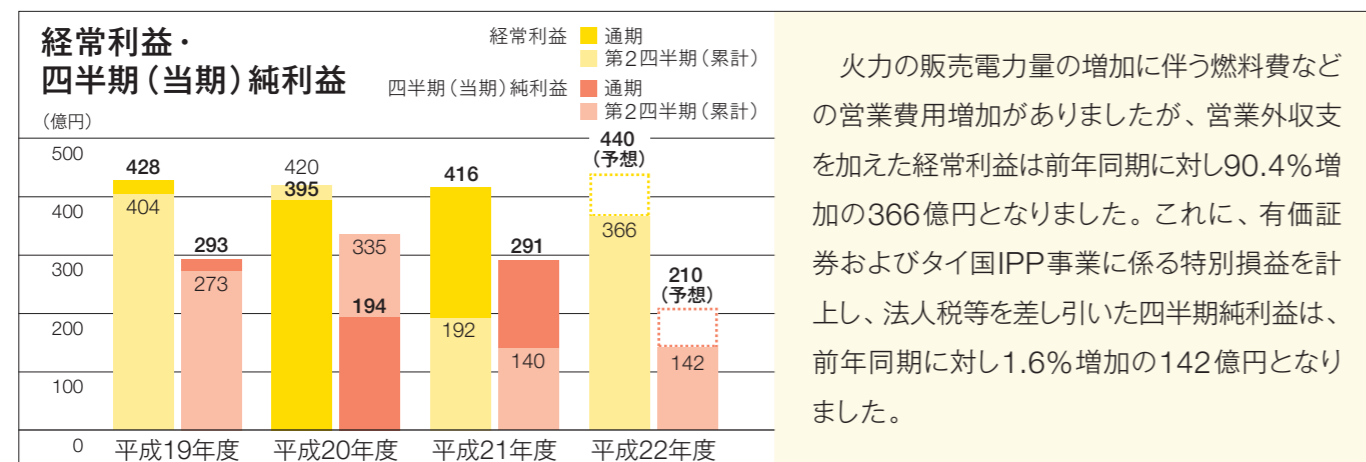
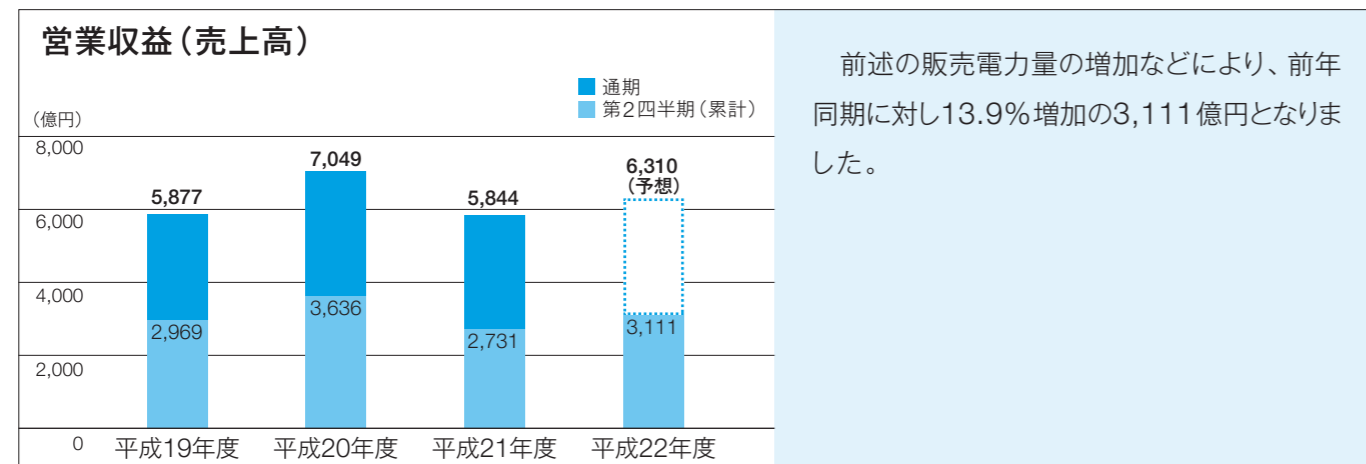
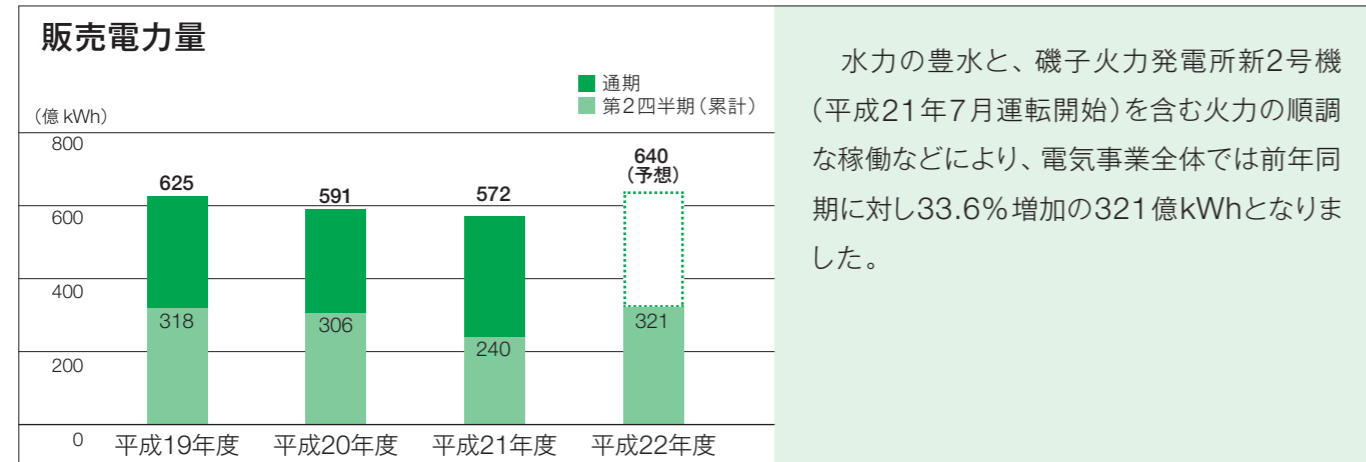
7月12日、原子炉格納容器内張鋼板(下部)の吊り込みが行われました。大間原子力発電所では原子炉に改良型沸騰水型軽水炉 (ABWR) を、また原子炉格納容器は従来の鋼製のものに替えて鉄筋コンクリート製原子炉格納容器 (RCCV) を採用しています。RCCVは厚さ2mの鉄筋コンクリート構造で、原子炉建屋と一体化させることで、耐圧、遮蔽性、耐震性を向上させ、同時に工期短縮を可能にしています。



# 決算情報

## ● 財務ハイライト

当第2四半期(累計)は電気事業の販売電力量が前年同期を上回ったことなどから増収増益となりました。



(注) 上記グラフ中の業績予想の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでいます。実績などは、業績の変化などにより、予想数値と異なる場合があります。

## ● 決算の概要

### 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

|                 | 当第2四半期(累計)<br>平成22年4月1日から<br>平成22年9月30日まで | 前第2四半期(累計)<br>平成21年4月1日から<br>平成21年9月30日まで |
|-----------------|---|---|
| 営業収益            | 311,101                                   | 273,115                                   |
| 営業費用            | 266,066                                   | 250,387                                   |
| 営業利益            | 45,034                                    | 22,728                                    |
| 営業外収益           | 5,003                                     | 9,252                                     |
| 営業外費用           | 13,419                                    | 12,744                                    |
| 四半期経常収益合計       | 316,104                                   | 282,368                                   |
| 四半期経常費用合計       | 279,486                                   | 263,131                                   |
| 経常利益            | 36,618                                    | 19,236                                    |
| 過水準備金引当又は取崩し    | 92  | △387                                      |
| 特別利益            | 1,635                                     | -   |
| 特別損失            | 9,666                                     | -   |
| 税金等調整前四半期純利益    | 28,495                                    | 19,624                                    |
| 法人税、住民税及び事業税    | 13,293                                    | 4,389                                     |
| 法人税等調整額         | 1,388                                     | 1,453                                     |
| 法人税等合計          | 14,682                                    | 5,843                                     |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 13,812                                    | -   |
| 少数株主損失(△)       | △427                                      | △231                                      |
| 四半期純利益          | 14,240                                    | 14,011                                    |

### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

|          | 当第2四半期末<br>平成22年9月30日現在 | 前期末<br>平成22年3月31日現在 |
|----------|-------------------------|---------------------|
| 資産の部     |                         |                     |
| 固定資産     | 1,849,281               | 1,879,804           |
| 電気事業固定資産 | 1,214,840               | 1,226,640           |
| その他の固定資産 | 55,503                  | 49,619              |
| 固定資産仮勘定  | 284,251                 | 309,740             |
| 核燃料      | 42,222                  | 38,688              |
| 投資その他の資産 | 252,463                 | 255,115             |
| 流動資産     | 178,173                 | 144,276             |
| 資産合計     | 2,027,454               | 2,024,080           |
| 負債の部     |                         |                     |
| 固定負債     | 1,324,196               | 1,346,526           |
| 流動負債     | 288,959                 | 261,837             |
| 特別法上の引当金 | 827                     | 734                 |
| 負債合計     | 1,613,983               | 1,609,099           |
| 純資産の部    |                         |                     |
| 株主資本     | 435,668                 | 426,680             |
| 評価・換算差額等 | △24,148                 | △14,003             |
| 少数株主持分   | 1,951                   | 2,304               |
| 純資産合計    | 413,471                 | 414,981             |
| 負債純資産合計  | 2,027,454               | 2,024,080           |

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

|                     | 当第2四半期(累計)<br>平成22年4月1日から<br>平成22年9月30日まで | 前第2四半期(累計)<br>平成21年4月1日から<br>平成21年9月30日まで |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 52,908                                    | 64,772                                    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △40,599                                   | △63,790                                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △12,104                                   | △4,420                                    |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | △284                                      | 1,154                                     |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △79                                       | △2,283                                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 40,329                                    | 29,530                                    |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 40,249                                    | 27,247                                    |

(注) 決算情報の詳細については、当社IRサイトをご覧ください。

[アクセスはこちら](#)

[http://www.jpowers.co.jp/annual\\_rep/index.html](http://www.jpowers.co.jp/annual_rep/index.html)

# コミュニケーションひろば

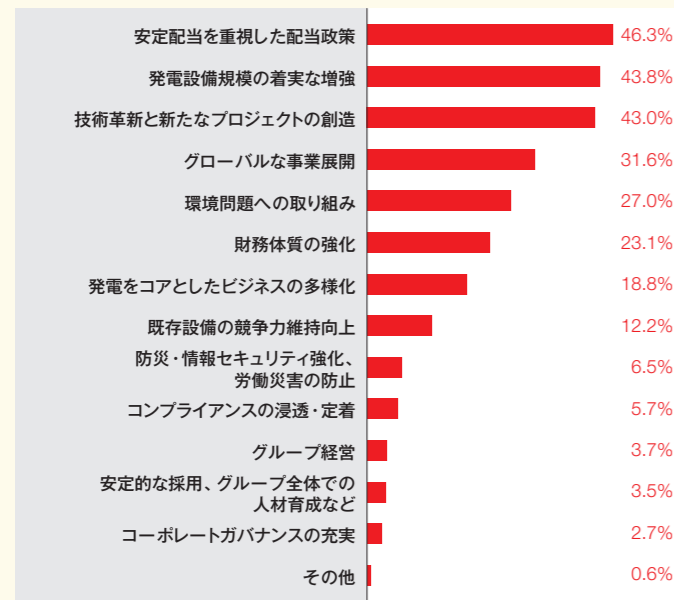
## ●株主様アンケート調査結果のご報告

平成22年6月に実施いたしました株主様アンケート調査に対し、8,326名(23.4%)の株主様からご回答をいただきました。多岐にわたる質問項目について、多くの皆様からご回答をいただきましたことに、改めて厚くお礼申し上げます。

ここではアンケート調査結果(抜粋)をご報告するとともに、代表的なご意見・ご要望にご回答いたします。今後も皆様との対話を重視し、いただきました貴重なご意見をもとにIR活動(投資家向け広報活動)のさらなる充実を図ってまいります。

## アンケート調査結果(抜粋)

### ○J-POWERに期待する取り組み

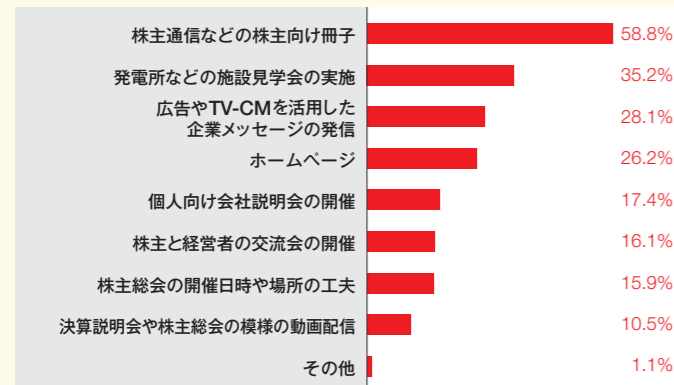


「安定配当を重視した配当政策」「発電設備規模の着実な増強」「技術革新と新たなプロジェクトの創造」などへの期待が高く、多くの方に当社経営計画をご支持いただいていることが分かります。皆様のご期待にお応えするべく、取り組みを続けてまいります。



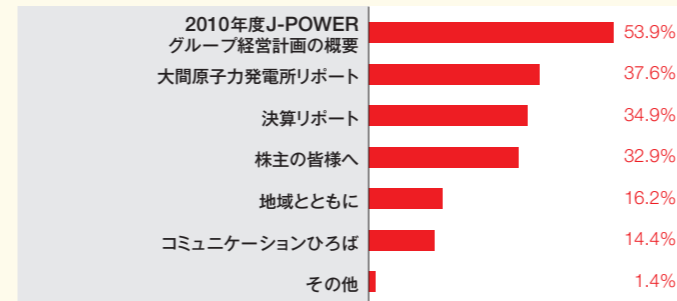
大間原子力発電所外観(予想図) EAGLE(多目的石炭ガス製造技術開発)パイロット試験設備(福岡県北九州市)

### ○今後、充実を希望するIR活動



「株主通信などの株主向け冊子」に多くの票が集まりました(株主通信については次の項目をご覧ください)。この点に関連する取り組みとして、定期的に当社刊行物やニュースリリースなどをお送りする会員制の情報提供サービス「J-POWER倶楽部」を開始して約1年が経過しました。先般実施した会員アンケートでは多くの方に満足いただいております。今後もご期待にお応えできるよう、会社情報の発信に努めてまいります。

### ○前回の株主通信について、興味をお持ちになった内容



「2010年度J-POWERグループ経営計画の概要」への注目が高く、会社の経営方針や事業の展望へ高い関心を寄せていただいていることが分かります。一方、「専門用語が多く難しい」というご意見もいただいております。会社情報を株主の皆様に分かりやすくお伝えするよう改善を図ってまいります。

## ご意見・ご要望へのご回答

### 「大間原子力発電所は重要なプラント。安全に万全の注意を払いつつ建設工事を着実に進めてほしい」

➡大間原子力発電所にご期待いただきありがとうございます。大間原子力発電所は、当社事業基盤の強化に資するとともに、発電過程でCO<sub>2</sub>をほとんど排出しないため、低炭素化に重要な役割を果たす電源です。今後も安全確保を最優先に建設を進めてまいります。

➡また、本誌の「大間原子力発電所レポート」は毎回ご好評をいただいております。今後も引き続き建設工事の状況をシリーズでお伝えしてまいります。今号では、工事に大きな進展があったため拡大版でお送りしております。

(3~4ページをご覧ください)

### 「施設見学会の実施回数や定員、実施地点など、もっと拡大してほしい」

➡施設見学会の実施にあたっては、発電所の運転計画や点検補修スケジュール、設備上の受入可能人数などの制約があり、それらを調整の上、地域バランスも考慮しつつ実施内容を決定しております。

毎回多くのご応募をいただくため抽選となっており、残念ながらご希望に沿えないこともございますが、なるべく多くの皆様に当社施設をご覧いただけるよう、今後も引き続き取り組んでまいります。

➡また、次回の磯子火力発電所の施設見学会では、実施回数を増やしてご案内しております。

(募集内容は9ページをご覧ください)



佐久間発電所施設見学会

➡また、当社の展示館・PR施設をご紹介します。各事業所において地域とのふれあいと人々の交流の場を提供しております。ぜひご利用ください。

(10ページをご覧ください)

### 📅 カレンダーのご送付について

本年6月に実施したアンケートにご回答いただいた株主様には、「J-POWERオリジナルカレンダー2011年版」をお送りいたします。発送は12月上旬を予定しておりますので、しばらくお待ちください。



今回のカレンダーは「幻想郷景」と題し、当社の施設がある都道府県において、その地を郷里または活動拠点とする写真家が撮影した、その土地ならではの美しい自然風景写真で構成しています。

サイズ:縦605mm×横455mm

### 💻 当社IRサイトのご案内

当社IRサイトでは、最新のニュースや開示情報などを定期的に更新しており、特に「個人投資家の皆様へ」のページには、業績の推移や今後の計画、発電所でのイベント情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



アクセスはこちら

[http://www.jpowers.co.jp/annual\\_rep/ann03000.html](http://www.jpowers.co.jp/annual_rep/ann03000.html)

## ●株主様向け施設見学会のお知らせ



今回は「碓子火力発電所」(神奈川県横浜市)の施設見学会を開催いたします。ご希望の方は同封のはがきにてお申し込みください。多くの皆様のご応募をお待ち申し上げます。

**開催日:**  
平成23年2月9日(水) / 15日(火) / 16日(水)

| コース番号   | 実施日 | 予定時間          | 集合・解散場所      |         |
|---------|-----|---------------|--------------|---------|
| 行程(日帰り) | ①   | 平成23年2月9日(水)  | 13:00~17:00頃 | JR横浜駅周辺 |
|         | ②   | 平成23年2月15日(火) | 13:00~17:00頃 | JR横浜駅周辺 |
|         | ③   | 平成23年2月16日(水) | 13:00~17:00頃 | JR横浜駅周辺 |

(注)集合・解散場所と発電所との間はバスにて移動いたします。交通事情により解散時刻が前後する場合がございます。

## 募集要項

|        |  |
|--------|--|
| 見学場所   | 碓子火力発電所(神奈川県横浜市)   |
| 参加費    | 無料<br>(ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担でお願いいたします)  |
| 募集対象   | 平成22年9月30日現在、当社株式を100株以上保有する方<br>(同伴者は小学生以上の方1名様に限らせていただきます)   |
| 募集定員   | 各コースとも40名(応募者多数の場合、抽選とさせていただきます)   |
| お申し込み  | 同封のはがきにてお申し込みください  |
| お問い合わせ | 電源開発株式会社 総務部 株式グループ 施設見学会担当<br>TEL:03-3546-2211(代表)<br>(受付時間9:00~17:30[土・日、祝祭日を除く])<br>E-Mail:kabushiki@jpower.co.jp |
| しめきり   | 平成22年12月15日(水)消印有効<br>当選者のみ郵送でご連絡(平成23年1月15日までに詳細なご案内をお送りいたします)<br>(注)落選の場合はご連絡は差し上げません。                             |

(注1) ご見学時はバスの乗降や階段の昇降があり、発電所構内を1時間ほど歩きますので、あらかじめご了承ください。  
(注2) ご応募いただいた個人情報は、施設見学会の実施およびその他IR活動(投資家向け広報活動)のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。



## 地域とともに

シリーズ  
VOL.3

J-POWERグループは、各事業所の地元地域の皆様に対して、当社の事業をご理解いただくためのさまざまな取り組みを行っています。今回は新たにオープンした碓子火力発電所地域開放施設をはじめ、各地の展示館をご紹介します。

## 「ISOGOエネルギープラザ」がオープン

40年以上にわたり、首都圏の電力の安定供給に貢献している碓子火力発電所。同発電所では、旧式設備を最新鋭の石炭火力に更新し、平成14年4月に新1号機、平成21年7月に新2号機が営業運転を開始しました。

そしてこのほど、発電所構内に地域開放施設としてPR館と屋上緑地広場がオープンしました。PR館「ISOGOエネルギープラザ」は、発電所全体模型やプラントシアター、石炭の歴史を船型タイムマシンに乗って映像で理解していただく展示などにより、石炭火力発電所の仕組みや当社のご紹介を行っています。お近くへお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



## J-POWERの展示館・PR施設一覧

- 1. 鬼首地熱発電所PR館**  
所在地:〒989-6941 宮城県大崎市 鳴子温泉鬼首字荒雄岳2-5  
電話番号:0229-82-2141  
最寄機関:鬼首地熱発電所
- 2. 奥只見電力館**  
所在地:〒946-0082 新潟県魚沼市 湯之谷字川字大島1317-3  
電話番号:025-795-2059  
最寄機関:小出電力所
- 3. OKKYミュージアム**  
所在地:〒949-6212 新潟県南魚沼郡 湯沢町大字三国土場山502  
電話番号:025-789-2728  
最寄機関:奥清津電力所
- 4. 只見展示館**  
所在地:〒968-0421 福島県南会津郡 只見町大字只見字大赤沢山  
電話番号:0241-82-3150  
最寄機関:田子倉電力所
- 5. 下郷展示館**  
所在地:〒969-5208 福島県南会津郡 下郷町大字小沼崎黒倉乙1054-1  
電話番号:0241-68-2221  
最寄機関:下郷電力所
- 6. 森の発電おはなし館**  
所在地:〒325-0111 栃木県那須塩原市 板室字滝の沢897-6  
電話番号:0287-69-0505  
最寄機関:沼原電力所
- 7. 佐久間電力館**  
所在地:〒431-3901 静岡県浜松市 天竜区佐久間町佐久間2552  
電話番号:053-965-1350  
最寄機関:佐久間電力所
- 8. ISOGOエネルギープラザ**  
所在地:〒235-8510 神奈川県横浜市 磯子区新磯子町37-2  
電話番号:045-750-0655  
最寄機関:碓子火力発電所
- 9. MIBOROダムサイドパーク**  
所在地:〒501-5505 岐阜県大野郡 白川村大字牧140-1  
電話番号:05769-5-2012  
最寄機関:御母衣電力所
- 10. 竹原火力展示館**  
所在地:〒729-2394 広島県竹原市 忠海長浜2-1-1  
電話番号:0846-27-0211  
最寄機関:竹原火力発電所
- 11. J/パワー&よんでんWonderland**  
所在地:〒779-1620 徳島県阿南市 福井町舟端1番地  
電話番号:0884-34-3251  
最寄機関:橋湾火力発電所
- 12. MATSUURAエネルギープラザ**  
所在地:〒859-4506 長崎県松浦市 志佐町白浜免字瀬崎458-1  
電話番号:0956-72-1201  
最寄機関:松浦火力発電所
- 13. 松島火力PR室**  
所在地:〒857-2531 長崎県西海市 大瀬戸町松島内郷2573-3  
電話番号:0959-22-2111  
最寄機関:松島火力発電所
- 14. J-POWERふれあい館**  
所在地:〒895-2102 鹿児島県薩摩郡 さつま町神子3985-9  
電話番号:0966-24-3100  
最寄機関:南九州電力所
- 15. ていだホール**  
所在地:〒904-1103 沖縄県うるま市 石川赤崎3-4-1  
電話番号:098-964-3711  
最寄機関:石川石炭火力発電所

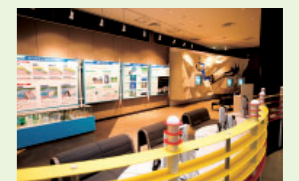
※開館時間、休館日などについては各施設にお問い合わせください。



## PICK UP

### OKKYミュージアム

新潟県に位置する奥清津発電所は、水力発電所としては日本最大級の出力を誇る揚水式発電所です。同発電所は、最新の発電設備を体験できる「OKKYミュージアム」、四季折々の自然が楽しめる「のびのび広場」、そして発電所の建設時を振り返ることができる「水の路」などを併設しており、観光スポットとしてもお楽しみいただけます。



# 会社概要・株式基本情報

(平成22年9月30日現在)

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 商号                        | 電源開発株式会社   |
| コミュニケーションネーム              | J-POWER  |
| 設立                        | 昭和27年9月16日   |
| 従業員数                      | 2,333名(単体)<br>6,800名(連結)   |
| 資本金                       | 152,449百万円   |
| 事業年度                      | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会                    | 毎年6月開催   |
| 基準日                       | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当 毎年3月31日<br>中間配当 毎年9月30日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告して<br>定めた日。 |
| 上場金融商品取引所                 | 東京証券取引所市場第一部   |
| 証券コード                     | 9513   |
| 発行可能株式総数                  | 660,000,000株   |
| 発行済株式の総数                  | 166,569,600株   |
| 株主数                       | 38,372名  |
| 単元株式数                     | 100株   |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社   |

住友信託銀行株式会社 証券代行部  
[郵便物送付先]  
〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
[電話照会先]  
☎0120-176-417  
[インターネットホームページURL]  
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

株主名簿管理人  
事務取扱場所

電子公告(当社ホームページに掲載  
<http://www.jpowers.co.jp>)。ただし、  
事故その他やむを得ない事由によって  
電子公告をすることができない場合  
は、日本経済新聞に掲載いたします。



〒104-8165  
東京都中央区銀座六丁目15番1号  
TEL:03-3546-2211(代表)  
<http://www.jpowers.co.jp>

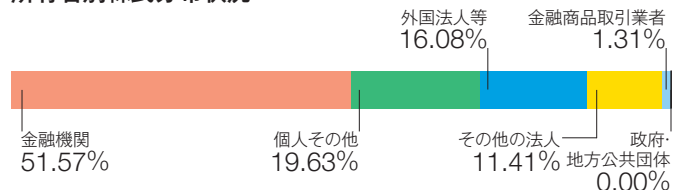
当社ホームページでは、経営方針や株式事務のご案内など、  
株主・投資家の皆様向け情報を掲載したページもご用意しております。

## 大株主の状況(上位10名)

| 株主名                            | 持株数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|--------------------------------|-------------|-------------|
| 日本生命保険相互会社                     | 9,120       | 5.48        |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(信託口)    | 8,101       | 4.86        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>(信託口)  | 7,641       | 4.59        |
| 株式会社みずほコーポレート銀行                | 7,465       | 4.48        |
| 株式会社三井住友銀行                     | 4,295       | 2.58        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>(信託口9) | 4,234       | 2.54        |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行                  | 4,140       | 2.49        |
| J-POWER従業員持株会                  | 3,420       | 2.05        |
| 全国共済農業協同組合連合会                  | 2,949       | 1.77        |
| 大同生命保険株式会社                     | 2,833       | 1.70        |

(注)上記のほか、当社保有の自己株式16,516,309株があります。

## 所有者別株式分布状況



(注)自己株式16,516,309株は、「個人その他」に含まれております。

## 株式事務について

《株券電子化が平成21年1月5日に実施されました》

- 株券電子化前に証券会社に預け入れている株式につきましては、お取引の証券会社の口座に株式が記録されており、電子化前後で株式のお取り扱いに特段の変更はございません。住所変更などのお届けおよびご照会や配当金受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取請求\*をご希望の場合は、お取引の証券会社宛にご連絡ください。
- 株券電子化前に証券会社に預け入れていない株式につきましては、当社が住友信託銀行株式会社に開設した「特別口座」に記録され、株主様の権利は確保されております。住所変更などのお届けおよびご照会や配当金受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取請求\*をご希望の場合は、株主名簿管理人へご連絡ください。

\*単元未満株式(100株未満の株式)の買取請求については、当社に時価でご売却いただける制度(単元未満株式買取請求の制度)がございます。

